



青空リサイクルプラザ

とき 毎週日曜日 午前8時～午後1時
 ※悪天候の場合は中止します
 ところ アイム天満屋東一宮店駐車場

みんなの行動が
 集めた200トン
 青空リサイクルプラザ開設1周年

リサイクルに取り組みたいけれど地域の資源回収と日程が合わなくて、などと困っている人のために昨年2月から始まった「青空リサイクルプラザ」。毎週100人を超える人々に利用され、3トンから5トンもの資源が回収されていきます。1年間に回収した資源は、何と200トン。1トンの紙を作るのに約20本の立ち木が必要といわれており、これまでに約4,000本に相当する木材資源が節約されたこととなります。

対象品と出し方 (家庭から出るものに限ります)

品目	対象品	出し方
新聞、ちらし	新聞、折り込みちらし	新聞とちらしは分けなくてよい
雑誌類	雑誌、カタログ、封筒、はがき、コピー用紙など	できるだけ大ききごとに分け、紙ひもで縛る
段ボール	みかん箱など	ろう引き・アルミはくが張ってあるものは不可
紙パック	牛乳、ジュースなどの紙パック	中をすすぎ、切り開いて乾かす(紙以外の素材が含まれたものは不可)
ボール紙	菓子箱、化粧箱、ティッシュの箱など	紙以外のものを取り除く
茶紙	米袋、茶封筒など	少量の場合はボール紙といっしょに出す
古着、古布	衣類、皮革、帽子、シート、ストッキングなど	◇ボタンは取らない ◇洗濯して出す(布団、電気毛布などは不可)
びん	飲料・調味料のびん	中をすすぎ、色別に出す
缶	飲料の缶、缶詰、スプレー缶など	◇水洗いし、スチールとアルミに分ける◇スプレー缶は必ず穴を開ける
その他金属類	金属製の鍋、やかん、フライパンなど	可能な範囲で金属以外のものを取り外す

「すべて資源」の考え方で

津山再生資源事業
 協同組合 理事長

杉本 邦夫さん



すべてのものを「資源」としてよみがえらせたい。私の考え方の中に「ごみ」という言葉はありません。

青空リサイクルプラザでは、地域の資源回収で引き取れなかった古布や鍋・フライパンなどの金属類も回収しています。市内の遠方から持ち込まれる人も多く、「資源化」の意識が進んでいると感じます。

市民のみなさんには、いつも資源として活用できるのではないかという気持ちを持って生活してほしい。そして、価格が高くなる面もありますが、再生品の積極的な利用をお願いしたいですね。そのことが、環境にやさしい生活につながっていくと思います。

問い合わせ先 環境事業課 22-8255

美作大学
 社会人への授業開放

開放科目:教育相談、学習心理学、老人福祉論、食生活論、児童福祉論 聴講料:
 1科目あたり5,000円(半期) 締め切り:4月1日(金) 必着 申込・問い合わせ先:
 美作大学教務課 22-7310